

【お問い合わせ先】

キャタピラー

渉外・広報室

〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい3-7-1

TEL: 045-682-3576 FAX 045-682-3690

本資料はCaterpillar米国本社が2020年1月31日に発信したプレスリリースを日本語に翻訳し、みなさまのご参考に提供するものです。
本資料の正式言語は英語であり、その内容・解釈については英語が優先します。

Caterpillar が 2019 年第 4 四半期および通年業績、2020 年見通しを発表

- 売上高は、第4四半期に8%減、通年で2%減
- 堅調な営業キャッシュフローにより、年度末の全社現金残高は83億ドル
- 株主還元（配当金の支払い・株式の買い戻し）は、第4四半期に13億ドル、通年で約62億ドル
- 2020年の1株当たり利益の見通し幅は、8.50～10.00ドルの範囲

(単位：10億ドル、但し1株当たり利益除く)	第4四半期		通年	
	2019	2018	2019	2018
売上高	\$13.1	\$14.3	\$53.8	\$54.7
1株当たり利益	\$1.97	\$1.78	\$10.74	\$10.26
調整後1株当たり利益	\$2.63	\$2.55	\$11.06	\$11.22

(イリノイ州ディアフィールド発) — Caterpillar Inc. (NYSE: CAT) は本日(1月31日)、2019年第4四半期および通年業績を発表しました。

同四半期の売上高は131億ドルで、前年同期の143億ドルから8%減少しました。同じく1株当たり利益は1.97ドル（前年同期：1.78ドル）、調整後1株当たり利益は2.63ドル（前年同期：2.55ドル）でした。

Caterpillar の Jim Umpleby（アンプレビー）会長兼 CEO は、「第4四半期は、エンドユーザーの需要が予想を下回ったものの、コスト管理がそれを補って余りある結果をもたらしました。収益力は、競争力のある柔軟なコスト構造の維持に向け当社が鋭意注力してきたことを反映しています」と述べました。

通年の売上高は538億ドルで、前年度の547億ドルから2%減少しました。同じく1株当たり利益は10.74ドル（前年度：10.26ドル）、調整後1株当たり利益は11.06ドル（前年度：11.22ドル）でした。「2019年度は、売上が若干減少したものの、当社の長期目標に一致する営業利益とフリーキャッシュフローを実現し、製品の拡充とサービスへの投資も継続しました。また、『収益性の高い成長』に向けた戦略の実行に社員が注力してくれたため、配当を20%増やし、配当と自社株買いを通して60億ドルを上回る利益を株主に還元することができました」と Umpleby 会長兼 CEO は述べました。

営業利益率は、第4四半期で14.1%（前年同期：13.1%）、通年で15.4%（前年同期：15.2%）でした。

なお、2019年の調整後1株当たり利益には、年金およびその他の雇用後給付制度の再測定による時価評価損と米国税制改革関連の個別減税分が含まれていません。また、2018年の調整後1株当たり利益からは、年金およびその他の雇用後給付制度の再測定による時価評価損、事業再構築費用、米国税制改革の影響分、および一定の繰延州税評価税額控除調整分が差し引かれています。

2019年通年の全社の営業キャッシュフローは69億ドル、建設機械・エネルギー・運輸（ME&T）事業部門の営業キャッシュフローは、社債の発行収益から15億ドルを任意型年金に拠出した結果、49億ドルとなりました。また、第4四半期には、約7億6000万ドルのCaterpillar普通株式を買い戻し、5億6800万ドルの配当金を支払いました。通年では40億ドルのCaterpillar普通株式を買い戻し、21億ドルの配当金を支払った結果、年度末の全社現金残高は、株主還元分の約62億ドルを差し引いて83億ドル（前年度末：79億ドル）となりました。

2020年見通し

2020年の1株当たり利益は、8.50～10.00ドルの範囲を予想しています。

Umpleby 会長兼 CEO は次のように述べています。「2020年は、グローバル経済の不確実性が継続し、お客様の売上が圧迫され、そのためディーラー各社も在庫を一段と減らすとみえています。当社は、リードタイムを改善し、引き続き顧客需要の上振れ・下振れの変化に迅速に対応できるように備えています。今後も、『インベスターデー目標*（投資家向けの説明の際に話した目標）』を達成しつつ、継続的に製品の拡充とサービスへの投資を行い、『収益性の高い成長』に向けた長期戦略を進めていく所存です」。

なお、この見通しには、年金およびその他の雇用後給付制度の再測定による時価評価損益は含まれていません。

以 上

※ インベスターデー目標：

2019年5月2日に行われた投資家向け説明会「インベスターデー」にて掲げられた目標のこと

<https://www.caterpillar.com/en/investors/events-presentations.html>

キャタピラー社について：

建設機械の歴史は、1925年にキャタピラー社と共に始まり、未来へ続きます。世界最大の建設機械メーカーであるだけでなく、エンジン・発電機などパワーシステムのリーディングサプライヤーでもあります。

また、1963年以来、キャタピラー社は、半世紀以上にわたって、日本に重要な拠点を構えています。特に、主力製品である油圧ショベルの開発・製造をリードし、時代の先端を行く製品と技術を世界へ発信しています。